

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
 代表者 取締役社長 後藤高志
 (コード番号: 9024 東証プライム市場)
 問合せ先 広報部長 多々良嘉浩
 (TEL. 03-6709-3112)

2023年3月期第2四半期(累計)および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年9月29日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年5月12日に公表した2023年3月期第2四半期(累計)および通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想

(1) 2023年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	償却前営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
前回公表数値(A) (2022年5月12日発表)	214,000	15,000	43,000	11,000	5,000
今回修正予想(B)	210,000	11,000	39,000	10,000	64,000
増減額(B-A)	△4,000	△4,000	△4,000	△1,000	59,000
増減率(%)	△1.9%	△26.7%	△9.3%	△9.1%	-
(参考) 前年同期実績 (2022年3月期第2四半期(累計))	194,908	△3,533	23,582	△7,365	△12,751

各セグメントにおける営業収益および営業利益、償却前営業利益の見通し

(単位: 百万円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	2023/3期2Q予想 (今回予想)	5/12時点 公表数値比	前年同期比	2023/3期2Q予想 (今回予想)	5/12時点 公表数値比	前年同期比	2023/3期2Q予想 (今回予想)	5/12時点 公表数値比	前年同期比
都市交通・沿線事業	71,100	△8,000	+7,296	2,100	△6,400	+4,441	12,700	△6,400	+4,103
ホテル・レジャー事業	93,700	+1,400	+34,280	1,100	+2,000	+16,401	9,900	+1,900	+17,194
不動産事業	36,000	△500	△4,353	5,500	△700	△7,340	11,500	△600	△7,381
建設事業	-	-	△33,192	-	-	△1,564	-	-	△1,689
その他	23,500	+400	+4,576	2,200	+1,100	+2,685	4,100	+1,100	+2,493
合計	224,300	△6,700	+8,606	10,900	△4,000	+14,623	38,200	△4,000	+14,720
調整額	△14,300	+2,700	+6,485	100	-	△90	800	-	+696
連結数値	210,000	△4,000	+15,091	11,000	△4,000	+14,533	39,000	△4,000	+15,417

(注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去等であります。

2 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費およびのれん償却額を加えて算定しております。

(2) 2023年3月期通期連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	償却前営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回公表数値(A) (2022年5月12日発表)	443,000	31,000	88,000	25,000	82,000
今回修正予想(B)	416,000	13,000	70,000	11,000	75,000
増減額(B-A)	△27,000	△18,000	△18,000	△14,000	△7,000
増減率(%)	△6.1%	△58.1%	△20.5%	△56.0%	△8.5%
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	396,856	△13,216	42,415	△17,440	10,623

各セグメントにおける営業収益および営業利益、償却前営業利益の見通し

(単位: 百万円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	当連結会計年度 (今回予想)	5/12時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	5/12時点 公表数値比	前期比	当連結会計年度 (今回予想)	5/12時点 公表数値比	前期比
都市交通・沿線事業	144,700	△13,900	+13,368	1,400	△12,400	+7,148	23,700	△12,400	+6,945
ホテル・レジャー事業	187,300	△13,500	+54,119	2,300	△5,900	+30,350	20,100	△6,000	+31,228
不動産事業	73,100	+100	△3,539	10,000	+800	△10,579	21,700	+600	△10,842
建設事業	-	-	△62,290	-	-	△3,177	-	-	△3,386
その他	38,000	△100	+5,238	△1,100	△200	+2,156	2,900	△200	+2,062
合計	443,100	△27,400	+6,896	12,600	△17,700	+25,898	68,400	△18,000	+26,007
調整額	△27,100	+400	+12,247	400	△300	+317	1,600	-	+1,577
連結数値	416,000	△27,000	+19,143	13,000	△18,000	+26,216	70,000	△18,000	+27,584

(注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去等であります。

2 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費およびのれん償却額を加えて算定しております。

2. 修正の理由

2022年8月以降の業績の動向等や本日公表の「(開示事項の経過)子会社における固定資産の譲渡および特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ」で公表した事項等に伴う影響を踏まえ修正するものです。

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想における営業収益につきましては、新型コロナウイルス感染症は収束に向かい、国内景気が段階的に回復していくものと想定しておりましたが、足元の回復状況は想定より遅れており、鉄道業の運輸収入も想定を下回った水準で推移していること等により、2022年5月12日公表数値を下回る見通しです。営業収益が同公表数値を下回る見通しであることから、営業利益、償却前営業利益、経常利益も同公表数値を下回る見通しです。親会社株主に帰属する四半期純利益については、同日公表の「(開示事項の経過)子会社における固定資産の譲渡および特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、ザ・プリンス パークタワー東京等4物件を2022年9月30日に譲渡することが確定したことにより、同公表数値を上回る見通しであります。

2023年3月期通期連結業績予想における営業収益につきましては、2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と同様の理由により鉄道業の運輸収入、国内ホテル業の宿泊需要が同公表数値の想定より下回ることや、インバウンド需要についても、外国人の新規入国制限見直し等、2022年10月11日以降に水際対策措置が見直されるものの、本格的な回復には時間を要することを想定しているほか、前述の4物件の譲渡に伴う、同公表数値対比での減収を見込んでおります。なお、鉄道業の運輸収入は通期で84,073百万円(2022年5月12日公表数値比△10.8%)、国内ホテル業のRevPARは通期で8,284円(同公表数値比△1,948円)となる見通しであります。各種経費のコントロールや前述の4物件の譲渡により、通期の固定費は2020年3月期比で24,000百万円程度を削減する見通し(2022年5月12日に公表した業績予想における削減見込:17,000百万円)であります。営業収益が想定を下回る見通しであることから、営業利益、償却前営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初想定より下回る見通しであります。

(業績予想修正の前提)

鉄道業 旅客運輸収入 四半期ごとの見通し(2020年3月期同期比)

	2023年3月期					2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
【定期】※()内は2019年3月期第4四半期比					【定期外】※()内は2019年3月期第4四半期比				
前回公表数値 (2022年5月12日発表)	△12%	△16%	△9%	△9% (△12%)	前回公表数値 (2022年5月12日発表)	△7%	△5%	+1%	+15% (+1%)
今回修正予想 (第1四半期は実績)	△21%	△25%	△21%	△19% (△21%)	今回修正予想 (第1四半期は実績)	△14%	△19%	△12%	+6% (△7%)

国内ホテル業 客室稼働率 四半期ごとの見通し

	2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回公表数値 (2022年5月12日発表)	41%	62%	71%	68%
今回修正予想 (第1四半期は実績)	39%	46%	59%	59%

(注)本資料に記載されている当社グループの業績予想、目標、計画、予想その他の将来情報については、本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成した当該時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社グループの業績、財政状態その他の結果は、国内外の政治、経済、金融情勢の変動や、当社グループの中期経営計画において意図する施策の状況その他の本資料の作成時点で不確実な要素等により、本資料の内容又は本資料から推測される内容と大きく異なる場合があります。

以上